

ひろしまマイ・タイムラインの取組に関連した学習指導案

校 種	小学校	本時に関わる 資質・能力	知識・技能	
対象学年等	第4学年		思考力・判断力・表現力等	○
教科等	社会科		学びに向かう力	
単 元 名	自然災害からくらしを守る			

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

過去に発生した広島県内の自然災害などに着目して、家庭・学校での備えや地域の関係機関の役割や協力などに関する学習課題について、主体的に追究して考え、表現するとともに、学習したことをもとに安全で安心な社会づくりのために、今後さらに必要なことを考えることができる。

(2) 単元の計画（全10時間）本時：9/10

1次・・・地震からくらしを守る（8時間）

2次・・・風水害・火山災害からくらしを守る（本時：2時間のうち1時間目）

2 学習指導要領等の該当箇所

小学校学習指導要領・第2章・第2節社会・第2各学年の目標及び内容・〔第4学年〕

2 内容

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解する。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア)過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

3 本単元で育てたい資質・能力

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から地域の安全を守るための地域の関係機関の役割や協力について理解している。 ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動についてまとめている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。 ・学習したことを基に起こり得る災害を想定し、適切な意思決定や行動選択を行うことなどを考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習して学んだことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちができることを考えようとしている。

4 本時の目標

自然災害から地域の安全を守るための活動について、地域の関係機関の役割や協力について理解するとともに、自然災害の発生などに際し、自らが必要な情報を収集し適切な意思決定や行動判断を行うことなどを考え、説明したり文章で記述したりすることができる。

5 ひろしまマイ・タイムラインとの関わり

視点1 [情報収集の重要性]

○「ひろしまマイ・タイムライン」を作成するためには、ハザードマップ、避難情報や防災気象情報を確認する必要があることに気付くことができる。

視点2 [一人一人の意思決定や行動判断]

○避難開始・避難完了のシールを貼ること自体が、意思決定や行動判断であることに気付くことができる。

6 本時の学習過程

学習過程	マイ・タイムラインとの関わり	評価
<p>・過去に広島県で起こった風水害の一覧表や写真などを見せながら、平成30年7月豪雨による大規模な災害が起きたことを、映像資料を見せながら確認する。</p> <p>・教職員の作成した「マイ・タイムライン」を見せて、つくり方を紹介し、本時への学習への関心を高める。</p> <p>【課題】なぜ「マイ・タイムライン」が必要なのだろうか。</p> <p>■学習活動</p> <p>【「ひろしまマイ・タイムライン」の資料から、土砂災害・河川の氾濫・高潮に対する取組の写真を見て、気付いたことや感じたことを出し合おう。】</p> <p>(例) 施設整備が効果を発揮して、被害を防止している。</p> <p>(例) 予想される水の深さの看板を電柱に表示する。</p> <p>(例) これまでには経験したことのない記録的な大雨の時には、施設整備だけでは難しそうだな。</p> <p>・施設整備によって、被害を防止するなどの一定の効果を発揮したことを確認するとともに、これまでに経験したことのない記録的な大雨に襲われることなどの事実から、施設を整備するだけでは不十分であることを押さえる。</p> <p>■学習活動</p> <p>【施設を整備する以外にはどのような取組があるだろうか】</p> <p>(例) 自分たちがハザードマップを活用して避難をする。</p> <p>(例) 防災情報を流したり受信機を設置したりする。</p> <p>(例) 「マイ・タイムライン」を作って、備えしておく。</p> <p>■学習活動</p> <p>【施設を整備する以外の取組として作られた「ひろしまマイ・タイムライン」は、どのような思いから作られたのか話し合ってみよう。】</p> <p>(例) 地域のハザードマップを確認して避難経路を考え、いつ避難を始めるかを普段から家族と考えておくため。</p> <p>(例) 災害で亡くなる人がないように早めの避難を呼びかける。</p> <p>(例) どこに逃げるかをみんなに考えてもらうため。</p> <p>・広島県では大規模な災害の経験から、災害で亡くなってしまう人がゼロになるようにしたいという思いで、早めの避難行動や避難をするという意思決定や行動判断を促すために作られたことを確認する。</p> <p>【まとめ】予想を超える大きな災害に備えて一人一人が自分にできることを考えるとともに、いざというときには、声を掛け合うなどして、早めの避難をすることができるように、「マイ・タイムライン」を作っておく必要がある。</p>	<p>(●関連資料等)</p> <p>●資料「ひろしまマイ・タイムライン」(保護者の皆様へ) P15～17</p> <p>[情報収集の重要性]</p> <p>○過去に起きた災害の資料を確認したり、自然災害の種類及び要因を学んだりする。</p> <p>[情報収集の重要性]</p> <p>○避難情報や防災気象情報に「避難レベル」が使われていることから、新たな情報や正しい言葉の理解が必要であることに気付かせる。</p> <p>●資料「ひろしまマイ・タイムライン」(保護者の皆様へ) P2～4, P22</p> <p>[一人一人の意思決定や行動判断]</p> <p>○避難の呼びかけは、聞いた人が避難の判断をしやすくなることなどを伝え、避難行動に結びつきやすくなる方法にも気づかせる。</p> <p>○本時を受けて、ハザードマップを確認したり避難情報や防災気象情報の入手方法などを確認したりして、「ひろしまマイ・タイムライン」を、学校や家族と一緒に作成する。</p>	<p>○自然災害から地域の安全を守るための活動について、地域の関係機関の役割や協力について理解している。</p> <p>○自然災害の発生などに際し、自らが必要な情報を収集し適切な意思決定や行動判断を行うことなどを考え、文章で記述したり資料などを用いて説明したり話し合ったりしている。</p>
<p>■発展的な学習活動(「ひろしまマイ・タイムライン」作成後)</p> <p>【「ひろしまマイ・タイムライン」の考え方を広げていくために、私たちにできることはどのようなことだろうか。】</p> <p>(例) 行動するのが難しいお年寄りはどうするのか。低学年は、すぐには作ることができないかもしれない。</p> <p>(例) 自分たちのことだけでなく、自分たちに関わる様々な人たちの状況を考えないといけない。</p>	<p>[一人一人の意思決定や行動判断]</p> <p>○ひろしまマイ・タイムラインを作るときに、困ったことや難しかったことは、誰もが感じる難しさになることが分かり、考え方を広げていくためには、そのこと伝えていきたいという思いを引き出す。</p>	

7 「ひろしまマイ・タイムライン」の取組に向けた工夫

「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を通じて、早めの避難行動を促進したり、防災意識を醸成したりすることが目的です。

目的の達成のためには、作成に向けた準備・実際に使えるかどうかの振り返り・見直しも大切です。これらの取組は、様々な工夫が考えられますので、子供たちと一緒に、どのような方法があるかを考えてみてください。

子供たちの考えの例

- ・私たちが作った「ひろしまマイ・タイムライン」を、下の学年に紹介して、一緒に作ったらどうかな？
- ・参観日の授業で、保護者や地域の方と一緒に作ったらどう？
- ・作った「ひろしまマイ・タイムライン」が使えるかどうか、試してみたらどうかな？



広島県防災キャラクター「タスケ三兄弟」

そのほか、各地域の自主防災組織等でも、「ひろしまマイ・タイムライン」の活用を促しておられるので、地域の方が作成した「ひろしまマイ・タイムライン」から学ぶことも考えられます。

8 作成を支援するための動画や資料

○作成方法に関する資料と指導者向けの動画

広島県危機管理監みんなで減災推進課では、作成の仕方を説明した動画や作成などに係る Q&A を、ホームページに掲載しています。

★「ひろしまマイ・タイムライン」のつくり方

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/mytimeline/making/>

○デジタル版

小学生用には、冊子版「ひろしまマイ・タイムライン」を配付していますが、冊子が無くても作成してもらえるように、デジタル版も用意してあります。

★各市町のハザードマップ

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/out/public/hazardmap/>

デジタル版は、項目を一つずつ選択したり記入したりすると、「マイ・タイムライン」が完成します。

9 「ひろしまマイ・タイムライン」に関する関連資料

「ひろしまマイ・タイムライン」の推進に至った経緯が分かります。

○平成 30 年 7 月豪雨災害に関する県民の避難行動の調査について（総括）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/407429.pdf>

○私たちはなぜうまく避難できないのだろうか？

（平成 30 年 7 月豪雨災害を体験した県民の方の多様で貴重な証言をもとにした行動事例集）

https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/action/pdf/koudou_jirei.pdf

○広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動 トップページ

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/about/>

・「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」条例

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soumu/soumu/kenpo/pdf27/03gatsu/g-011/20150316010001.pdf>

